



八王子市議会レポート

47
2011年1月1日

つくる、つくろう通信

八王子市議会議員・無所属市民派

陣内やすこ

編集 / 発行：市民自治の会（陣内やすこ）

北野台在住

〒192-0912 東京都八王子市絹ヶ丘2-11-7 TEL 042-636-8158 FAX 042-636-8640

E-mail jinnaiya@mbk.nifty.com URL http://jinnai.ne.jp/



エコでフェアな未来を自治体から！

- 若者につけをまわさない -

2011年

新しい年をむかえました。いったい、この国はどこへいってしまうのだろう。地球温暖化をはじめとした環境問題、経済不況にみられる経済成長至上主義のいきづまりは、これまでの経済・社会・政治のあり方の根本的な見直しを求めています。ところが、中央政治は、古い政治体質から脱することができず、民意から乖離するばかり。いまこそ、市民力と地域力、熟議と合意による新しい政治 真に生活者の声にこたえる が求められています。足元から、地域から、自治体から変えていきましょう。2003年初当選以来、普通の人のあたり前の意見を力に、税金の使い方をチェックし、声を議会に届けてきました。そこから見えてきた八王子の課題、それはなんといっても、高齢であっても、障がいがあっても、子育て中でも、このまちで暮らせる地域ネットワーク作りです。少子・高齢化対策特別委員会委員長として委員会で取り組んできた地域包括支援センター調査が大きな力です。介護保険制度の改正が具体的になりつつある今、生活支援の切り捨てなど要介護軽度者のサービス削減は介護保険制度の理念放棄にもつながりかねません。現場に根ざしたニーズを形にしていくこと、それが求められています。

これからもがんばっていきます。

議会改革
の
ススメ②

2011年6月より議会インターネット中継はじまる

国会中継をはじめ、多くの自治体で取り組まれているインターネット中継が、いよいよ八王子市議会でも始まります。これが議会活性化の起爆剤となることを願っています。多くの市民の目で議会をチェック。

陣内やすこ

検索



ブログ更新中

http://jinnai.ne.jp/

2010年第4回定例議会 開かれました。(11月30日から12月15日)

陣内やすこの一般質問

性的マイノリティへの理解と支援を！

国では、12月4日から10日までの1週間を「人権週間」として人権の大切さとその尊重を訴えています。16項目^(注)を強調項目としています。性的指向や性同一性障害への偏見・差別は見えないものとして、理解がすすんでいないのが現実です。そこで質問。



：性的マイノリティに関する理解を深める啓発活動について、どのような考えを持っているのですか。

総務部長：人権の問題は非常に広範囲にわたるものです。性的少数者を含めて、人々がそれぞれの個性を認め、人が人として尊重される社会の実現が大切。そのために幅広く、人権全般について啓発をしていくことが必要であるという観点で取り組んでいます。

市はきちんとした考えを持っていないということです。性的マイノリティへの理解だけでなく、人権啓発一般に対する市としての具体的取り組みもありません。こりゃダメだ。学級にひとり、ないしふたりは性的マイノリティの子どもがいるといわれています。市全体としての取り組みが欠かせません。

高齢者の安心 成年後見制度の普及と課題

成年後見制度が出来て10年がたちます。しかし、具体的にどう使われているのか、その必要性が十分、伝わっていません。振り込め詐欺などの消費者被害や金銭搾取などによる虐待などから身を守り、認知症状がある一人暮らし高齢者のさまざまな契約関係をサポートする仕組みとして、成年後見制度をモットわかり易く、使える仕組みにする必要があります。そこで質問。



：後見制度の取り組み・普及、そして課題についての認識は？

健康福祉部長：社会福祉協議会に委託しています。事業進捗は、徐々にではありますが、図られてきている。市民後見人の育成・監督の観点から、サポート体制をつくっていくことについては認識しています。

都からの委託事業をそのままやっているだけ。使いやすさに配慮した、いくつかの先進自治体の例を参考に、「あんしんパック」をつくる必要性を訴えました。(この質問は、入院するのだけど保証人がいない、というご相談を元に行いました)

(注) 人権週間強調項目

- ・女性の人権を守ろう
- ・子どもの人権を守ろう
- ・高齢者を大切にする心を育てよう
- ・障害のある人の完全参加と平等を実現しよう
- ・部落差別をなくそう
- ・アイヌの人々に対する理解を深めよう
- ・外国人の人権を尊重しよう
- ・HIV感染者やハンセン患者等に対する偏見をなくそう
- ・犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう
- ・インターネットを悪用した人権侵害を止めよう
- ・ホームレスに対する偏見をなくそう
- ・性的指向を理由とする差別をなくそう
- ・性同一性障害を理由とする差別をなくそう
- ・北朝鮮当局による人権侵害問題に対する理解を深めよう
- ・人身取引をなくそう

報酬審議会の開催はいつに？

市長などの特別職や議員の報酬は、報酬審議会で検討されます。市内勤労者の平均給与収入はこの10年下がり続け、年金も上がり。市職員給与に関しては、人事院勧告や市独自の行財政改革で、これまた減額の一途です。議員の報酬は、2003年に61万円から59万円になって以降、現状維持が続いています。これでいいのか。本来なら、議員自ら、報酬の引き下げなり、見直しを提案するところですが、その機運なし。そこで、報酬審議会を開催し、議員の報酬についての審議を求めました。しかし...

市長：審議会から答申をもらったのは2008年12月。まだ、期間が経過していない。私をふくめ、理事者の給料は、本年1月から月額10%の減額をおこなっていることから、現在のところ、報酬審議会への諮問は考えていません。

こう考える！ 議員年金廃止と報酬見直し

陣内やすこは、2007年まちづくり方針で、「議員特権の廃止」を訴えてきました。視察時のグリーン車廃止は2010年4月から実施。議員年金については、2010年1月に総務省に廃止の要望書を仲間とともに提出。また、10月の決算審議のうちに、議員年金分約4600万円が支出されていることを指摘。早期の廃止を訴えました。ここにきて、全国市議会議長会は、やっと廃止を決定。これからの問題は清算処理の仕方です。税金投入は避けられないのですが、陣内やすこは圧縮を求めています。

報酬については、期末手当時の20%加算(報酬月額に20%を乗じてから支給月数をかける)廃止がまず当面の課題です。そして、議員活動の「見える化」のなかで、報酬の妥当性が検討されなければなりません。報酬の引き下げと政務調査費による議員活動の活性化を提案します。市民感覚での議論が必要です。

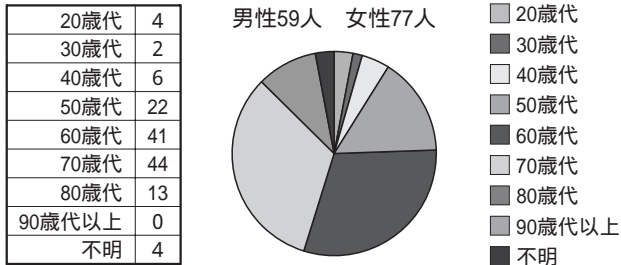
* 陣内やすこは、(財)東京財団の議員活動調査に参加。結果をホームページに公表しています。

暮らしアンケート 報告

アンケートのご協力、ありがとうございます

多くの方からご回答を頂きました。ありがとうございます。まちづくり方針、ならびに今後の議会質問の力としていきます。主なものを紹介します。詳しくはホームページに掲載いたします。

回答者136名の年齢別



分析

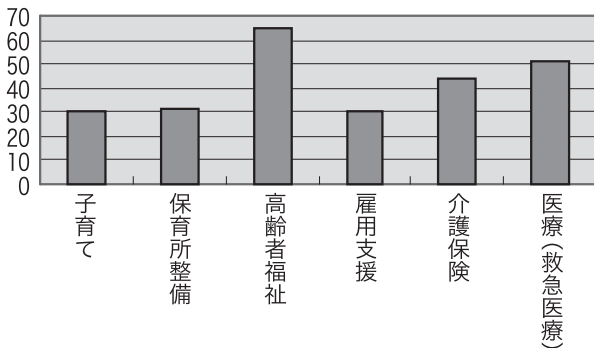
教育問題については、年齢にかかわらず、多くの方からの記載がありました。大きな関心事であるとともに、教育に対する不満・心配も垣間見られます。特に、30人学級への期待は大きい。教師・親への注文も自由記入欄に多く書き込まれていました。

介護保険に関しては、保険料負担が重く、サービスに対する不満が出ています。また、相談できる場所の周知が不十分です。医療への関心も高く、健康を害している人、救急医療の利用、ともども半数以上ありました。救急医療で助かったという意見もある中、混んでいた、受け入れられなかった、行き先の不案内、たらいまわしになった、などの意見も見受けられました。

また解雇者が身近にいる、という現在の厳しい社会状況の一面もみられました。

市政世論調査でも5年連続、高齢者福祉がトップです。これが生活者の声です。

施策の優先順位（5つ選択）

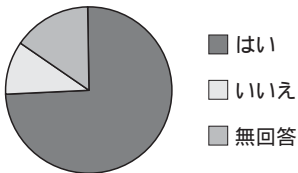


Key Word

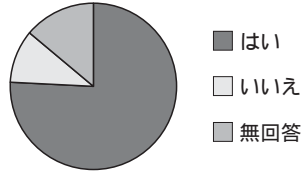
介護・教育・医療・雇用 / 子育てで若者支援

こんなことも聞きました

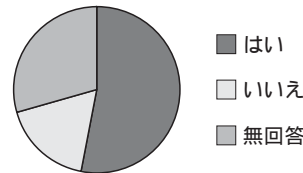
子どもの教育心配



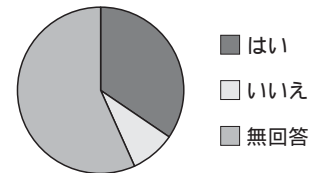
30人学級の実現



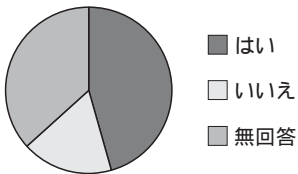
介護保険料高い



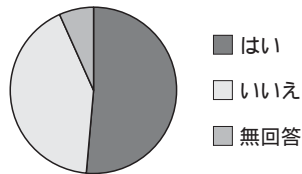
介護サービスが受けられない



介護の相談できる場所がない



救急医療を利用した



「ホームスタウン地区内の墓地建設反対請願」



市民力
請願採択
されました。

委員会審査の時に、要約筆記、手話通訳がつかまりました。



「障害がある人もない人も、子どもも、公平で誰もが安心して暮らせるまちを実現させるための条例に関する請願」

これからの地域社会

どうする？

どうなる！

超高齢社会を迎えて、医療・介護への期待が高まる一方で、不安も募っています。誰もが尊厳をもって、生き生きとした暮らしを送るために、私たちは何をしなければならないのでしょうか。地域医療の先駆者、色平哲郎先生をお招きして、一緒に考えませんか？

陣内やすこ



無所属市民派で2003年八王子市議会議員に初立候補し当選。2期目。地方自治に政党はいらないとの思いで、しがらみのない活動を実践。現場の声を議会に届ける。

いろひら
色平 哲郎



医学教育や国際保健活動に関わる一方で、訪問診療・在宅ケアを担当する。外国人HIV感染者・発症者への「医職住」の生活支援、帰国支援を行うNPO「アイザック」事務局長もかねる。



2011年 1月22日(土) 北野市民センターホール(京王線北野駅 北口1分)

第1部 2時～ 八王子市議会議員 陣内やすこの議会報告

第2部 3時15分～ 講演：医療・介護の地域課題から
講師：色平 哲郎さん(長野県佐久総合病院地域ケア科医長)

*参考図書『ヘルプマン』(くさか里樹著/講談社)第8巻 *資料代300円

主催：陣内やすこと明日の八王子をつくる会/みんなの居場所・高齢者プロジェクト
住所：八王子市絹ヶ丘2-11-7 連絡先：042-636-8158

第3部 新春のつどい

5時15分～
お茶代 1000円
於：café coton

編集後記

今年は、4月に都知事選挙、そして統一地方自治体選挙があります。中央政府が混迷を極める中、自治体からの変革が求められています。しっかりと議論できる議会改革を一層推し進めます。ウサギ年は景気がよくなるとか。もはや神頼み？
日本経済の立ち直りがすすみません。その原因は、偏った輸出依存体質、そして労働者の賃金が好景気の時でさえも上がらなかった構造にあるといわれています。目先のばら撒き施策ではダメということです。
イラスト協力はみどり三多摩。ありがとうございます。(や)